

さまよう青春 (1957)

LOVING YOU

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 98分

初公開日 1958/04/27

公開情報 P A R

【解説】

売り出し中のプレスリーの魅力がコンパクトに詰まり、彼自身の伝記的な内容のせいもあって、物語的にもぐっと楽しめる秀作だ。落ちぶれてカントリーを演奏して西部をドサ廻りしているテックス（コーリイ）のバンド・マネージャー、グレンダ（スコット）は、ある知事候補の薬屋のもとで働く青年ディークを、キャンペーンのショウに飛び入りさせ、その新鮮な歌唱に驚き、彼もツアーに同行させる。狡知にたけた彼女は、青年の売り出しにあの手この手を考え、まずは飛び入り参加の形で、聴衆に彼を印象づけ、そのうち、テックスと同等に扱うようになる。そこでテックスが嫉妬したりの描写もあるが、コーリイは抑えた演技で、既に峠をすぎた歌手の悲哀を出して、これが作品を締めている。バンドの紅一点スーザン（ハート）の存在感も清楚でよい。酒場での喧嘩沙汰（ここで唄う“Mean Woman Blues”がハイライトだろう。髪振り乱して唄うエルヴィスは本当に艶っぽい）すら宣伝に利用するグレンダだったが、青年は次第にそのやり口に嫌気がさしてくる。スーザンの田舎で静養をして帰る際ホームシックに襲われた彼は、実は孤児院を脱走した過去があった。ディークという名も、その時迷い込んだ墓地の墓碑銘に魅かれ頂戴した。“孤児だが友達が多かった”というその男の名にあやかっただ（グレンダを連れ、墓地を訪れる場面は感動的）。結局、全国放送のTV出演で、年配者たちの抗議を覆すパフォーマンスを見せ、人気を勝ち取る後半のご都合的な展開も、その辺の細部の旨さで相殺できており、後味はすこぶる良い出来。

【クレジット】

監督	ハル・カンター	Hal Kanter
製作	ハル・B・ウォリス	Hal B. Wallis
脚本	ハーバート・ベイカー	Herbert Baker
	ハル・カンター	Hal Kanter
撮影	チャールズ・ラング・J r	Charles Lang Jr.
音楽	ウォルター・シャーフ	Walter Scharf
出演	エルヴィス・プレスリー	Elvis Presley
	リザベス・スコット	Lizabeth Scott
	ドロレス・ハート	Dolores Hart
	ウェンデル・コーリイ	Wendell Corey
	ジェームズ・グリーソン	James Gleason